NIE実践報告

1．タイトル：☆新聞記事で生活を学習の身近なものに！

2．学校名

福井県福井市鶉小学校

3．実践者名（代表者名）

小西由起子

4．学年

第6学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間（楽しい食事を工夫しよう）　41人

6．単元（本時の学習課題）名

家庭にある冷凍食品（生産国　中国）、あなたならどうしますか？

7．目標(狙い)

新聞記事を学習資料として使用することで自分たち1人1人の学校や地域、家庭での小さな取り組みが地域の人々との関わりや環境をよりよくするために必要であるという実感を高める。

8．評価の視点

日本の食糧自給率の低さを確認し、食の安全性という意味から、地産池消を心がけることの重要性を意識した感想を書くことができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「楽しい食事を工夫しよう」［総合的な学習（トピック単元）：1時間］

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

家庭科「楽しい食事を工夫しよう」（12時間）
1.1食分の食事について考えよう（5時間）
2.調理の計画を立てて作ろう（6時間）お弁当作り
3.家族と楽しく食事をしよう（1時間）

総合的な学習「楽しい食事を工夫しよう」（1時間）
中国で生産された冷凍餃子に殺虫剤や農薬等が含まれるという事件が起きた。それを取り上げた新聞記事を児童に配布しどのように対処すべきか新聞記事を根拠に考えさせる。
意見交換を行わせた後、自分の考えをまとめさせる。家庭科室横に掲示する。

家庭科「地域とのつながりを広げよう」（10時間）
ここでは学習の最後に家族へのお礼として国内産の材料を用いて作った水羊羹と手紙を持ち帰らせる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

子供たちは弁当作りを試みその大変さから、市販の冷凍食品に依存しがちな現実を理解していた。そんな折り、今回の冷凍食品事件は、食の安全性がいかに重要であるかを児童に強く訴える事件であり、児童の関心は高く、単元最後の手紙には、おいしい米や野菜を作ってくれている祖父母への感謝の念が記されていてた。

12．成果と課題

新聞記事を活用したことで、食の安全性が十分とは言えない現実を目の当たりにすることができ、賢い消費者となるべき自覚を高めることができた。
国際親善的な意味から中国のものは全てだめという印象を与えないように指導することが大切である。